

CIGS 宮家邦彦講演会

『東アジアのパワー・シフトと日本の国家ビジョン』

東アジア・西太平洋における近年のパワー・シフトに注目し、そのパワーの台頭と変遷を歴史的に検証したうえで、同地域の安全保障環境の将来を展望する。さらにそのような事態に直面する日本が、国家としていかなるビジョンを持ち、いかなる戦略をもって東アジア西太平洋地域のパワー・シフトを生き延びることが出来るかについて、地政学的観点から論ずる。

<開催概要>

日 時： 2013年10月7日(月) 15:00～17:00

場 所： 経団連会館 2階 経団連ホール (東京都千代田区大手町 1-3-2)

参加費： 無 料

定 員： 300名

開 催： キャノングローバル戦略研究所

<講演者プロフィール>

宮家邦彦 キャノングローバル戦略研究所(CIGS) 研究主幹

1978年東京大学法学部卒業後、外務省入省。カイロ、バグダッド、ワシントン、北京にて大使館勤務。本省では、外務大臣秘書官、中東第二課長、中東第一課長、日米安保条約課長、中東局参事官などを歴任。2005年、外務省退職後、株式会社外交政策研究所を設立。

2006年立命館大学客員教授。2006-07年安倍内閣「公邸連絡調整官」として首相夫人を補佐。2009年4月よりCIGS研究主幹(外交安保)。

<プログラム>

- | | |
|-------------|--|
| 15:00-15:10 | 開会挨拶
福井 俊彦 (キャノングローバル戦略研究所 理事長) |
| 15:10-16:30 | 講演 『東アジアのパワー・シフトと日本の国家ビジョン』
宮家 邦彦 (キャノングローバル戦略研究所 研究主幹) |
| 16:30-17:00 | 質疑応答 |